

## 第22回 長岡京市地域公共交通会議

## アウトライン

- 第20回地域公共交通会議の再確認
- 済生会病院患者向けアンケート調査結果
- ルート変更案の決定

## 1. 第20回地域公共交通会議について



### ● 第20回地域公共交通会議の再確認

- 済生会病院患者向けアンケート調査結果
- ルート変更案の決定

- はっぴいバスのルート  
変更案を提案



## 2. ルート変更之际して主な条件（再掲）



項目	現在	ルート変更後
導入の目的	公共交通空白地域の解消	同左
	多様な世代の外出支援	同左
所要時間	1週の所要時間は50分程度	同左
ダイヤ設定	1時間に1本、パターンダイヤにて運行	同左
系統	北コース・西コースの2系統	原則として2系統を想定しているが、追加の系統も検討
バス停	—	新病院の敷地内へ乗り入れる
	—	バス2台で運行する場合、利用者数の少ないバス停は協議対象

5

## 3. ルート変更案

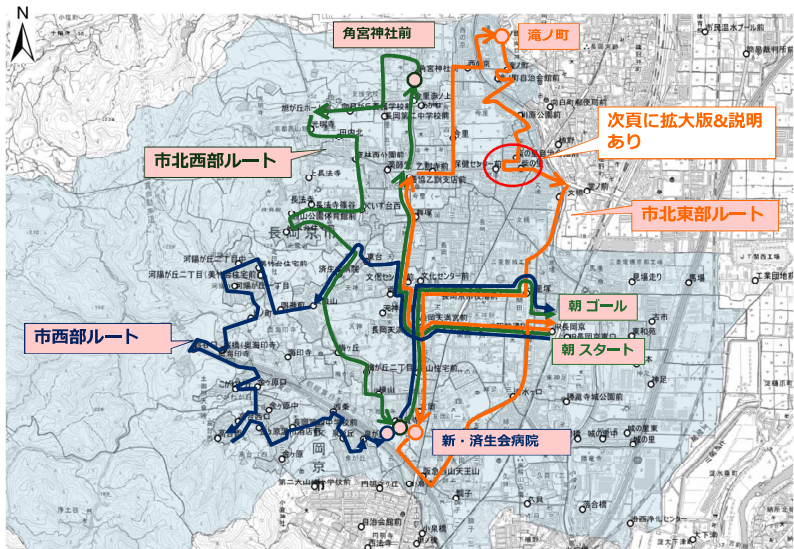


### はっぴいバス 3 台活用案

項目	概要
西ルート	(市西部ルート) <ul style="list-style-type: none"> <li>現西ルートの「伊賀寺」「横山」「梅が丘2丁目」を通らない</li> <li>「泉が丘口」と「花山住宅前」の間に新病院へ乗り入れる</li> </ul>
北ルート	(市北西部ルート) <ul style="list-style-type: none"> <li>JR長岡京駅から井ノ内、粟生、うぐいす台、梅が丘と回り、新病院へ乗り入れる</li> </ul>
	(市北東部ルート) <ul style="list-style-type: none"> <li>JR長岡京駅から西ノ京、滝ノ町、柴の里、一文橋と回り、新病院へ乗り入れる (市北東部ルート)</li> </ul>

6

### 3-1. 3台活用案



※ 午後は逆回りに運行

7

### 3-1-1. 保健センター周辺拡大図

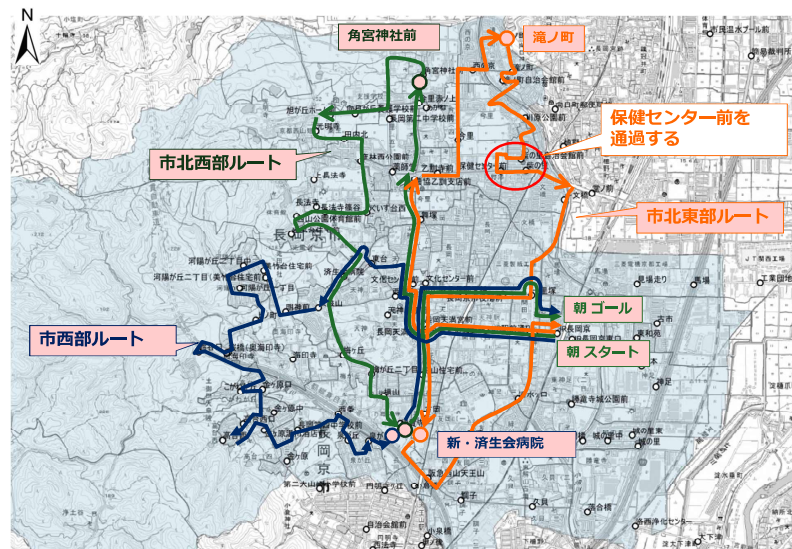


8

### 3-1-2.保健センター周辺拡大図（検討後）

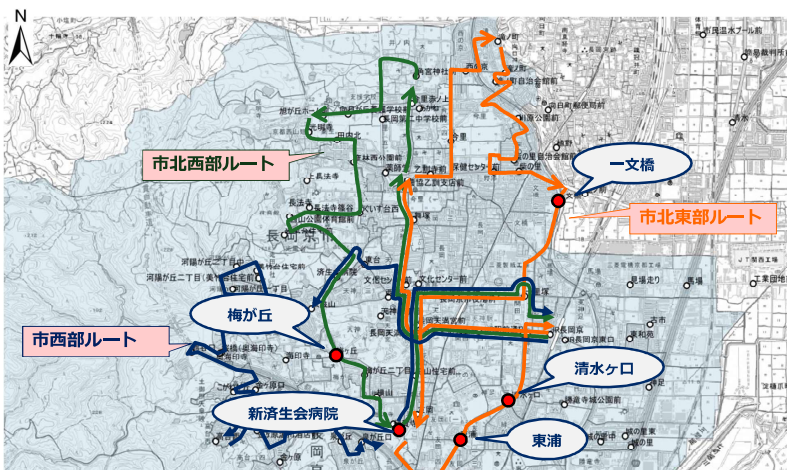


### 3-2. 3台活用案（保健センター前通過）



※ 午後は逆回りに運行

### 3-3. 経由するバス停の変化



廃止バス停	なし
新たに経由するバス停 ( )内は経由するルート	一文橋（北東）、東浦（北東）、清水ヶ口（北東）、 新済生会病院（全ルート）、梅が丘（北西）

### 4. 会議での意見



- 「はっぴいバスのルート変更によって、既存の地域公共交通へどのような影響を与えるかという視点が欠けている」



影響を検証するため、済生会病院の外来患者に対し、アンケート調査を実施

# 1. アンケート調査の実施概要

項目	概要
調査の目的	通院に際して、現在の移動手段と移転後の移動手段を把握するために実施
調査方法	病院職員による直接聞き取り調査 (※市職員が接触できないため、ルート変更案は提示していない)
調査実施時期	令和2年11月24日(火)～30日(月)
調査対象	済生会京都府病院への外来患者
聞き取り件数	115件
主な調査項目	①現在の移動手段(行き/帰り) ②移転後の移動手段(行き/帰り) ③通院頻度 ④回答者の属性(住所、年齢)

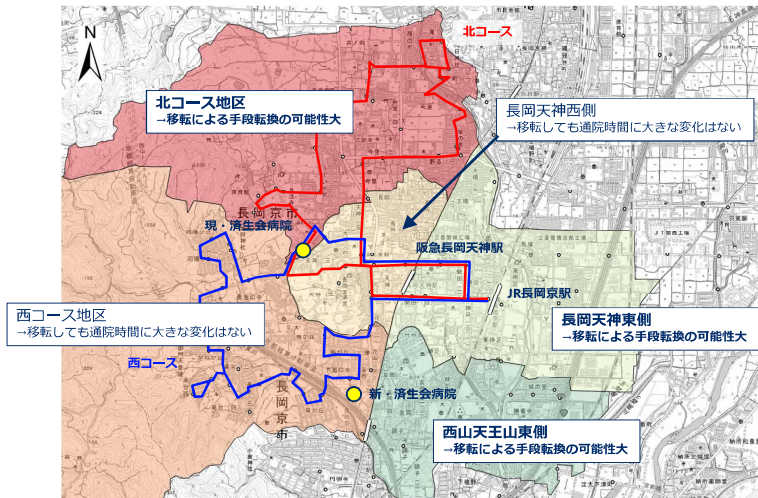
● 第20回地域公共交通会議の再確認

● 済生会病院患者向けアンケート調査結果

● ルート変更案の決定

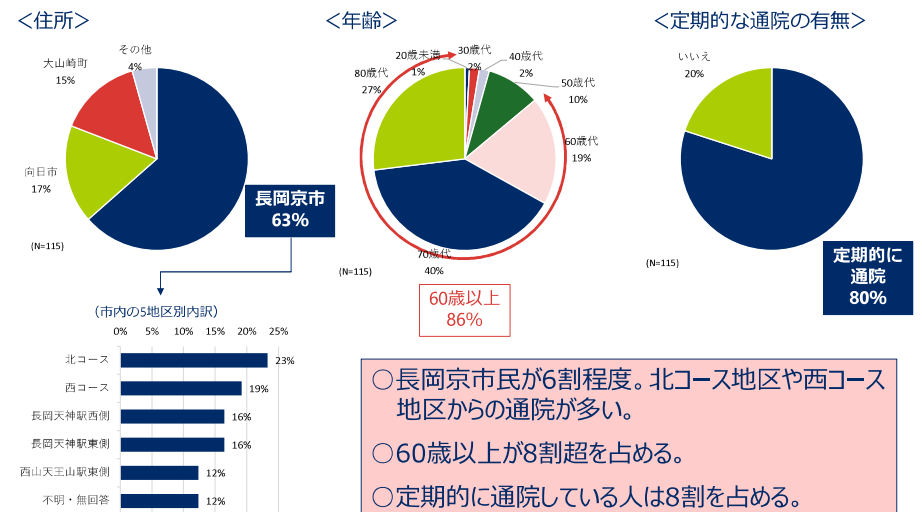
# 2. 調査結果

○市内を5地区に分けて集計  
→交通手段転換の分析は、転換可能性の高い「北コース地区」「長岡天神東側」「西山天王山東側」の3地区で行う。



# 2. 調査結果

○回答者属性



## 2. 調査結果



○通院の手段分担率の変化 (長岡京市民・定期的に通院している人の集計結果)  
 →済生会病院移転後に交通手段転換の可能性の高い地域のみ表示  
 (北コース、長岡天神東側、西山天王山東側の3地区)

行き	徒歩	自転車	バイク	自家用車	自家用車 (送迎)	路線バス	はっぴい バス	タクシー	鉄道
現在	11%	11%	0%	18%	26%	13%	13%	13%	0%
将来	13%	5%	0%	8%	16%	8%	47%	16%	5%
						バス計 26% → 55%			

帰り	徒歩	自転車	バイク	自家用車	自家用車 (送迎)	路線バス	はっぴい バス	タクシー	鉄道
現在	13%	11%	0%	18%	24%	16%	11%	16%	0%
将来	11%	5%	0%	8%	16%	8%	45%	18%	5%
						バス計 27% → 53%			

- 病院移転により、バス(路線バス+はっぴいバス)の利用意向は増加、タクシーは微増。
- 自家用車(送迎含む)の利用意向が減少。

17

## 3. 考察



- 自家用車から公共交通 (バス・タクシー) への  
**転換**が期待できる。
- 行きにバスを利用し、帰りにタクシーを利用する  
傾向がうかがえる。  
 ※「帰り」の分担率を「行き」と比較すると、バス  
 (路線バス+はっぴいバス)が減少し、タクシーは増加してい  
 るため。

18

## 4. 利用者数の試算



○利用者数の試算の条件

- ・1日の外来患者数：現在) 475人 → 将来) 530人 (済生会病院提供資料)
- ・長岡京市民の患者割合：35% (済生会病院提供資料)
- ・3地区の患者割合(人口割合)：70% (常住人口割合を使用(R2.10住民基本台帳人口))
- ・定期的に通院している人の割合：80% (アンケート調査結果)

行き	患者数 (外来)	3地区から の患者割合	定期的な 通院率	3地区の 患者数	バス(路線+はっぴい) 利用率/利用者数	タクシー 利用率/利用者数
現在	475人	24.5% (35%×70%)	80%	93.1人	26% / 24.2人	13% / 12.1人
将来	530人	24.5% (35%×70%)	80%	103.9人	55% / 57.1人	16% / 16.6人

帰り	患者数 (外来)	3地区から の患者割合	定期的な 通院率	3地区の 患者数	バス(路線+はっぴい) 利用率/利用者数	タクシー 利用率/利用者数
現在	475人	24.5% (35%×70%)	80%	93.1人	27% / 25.1人	16% / 14.9人
将来	530人	24.5% (35%×70%)	80%	103.9人	53% / 55.1人	18% / 18.7人

- バス(路線バス+はっぴいバス)とタクシーの利用者数は増加。

19

## 5. まとめ



○利用者数の試算結果

バス (路線バス+はっぴいバス)	タクシー
増加	増加

- はっぴいバスが新病院を通るという仮定でのアンケート  
調査に基づいたものなので、継続的にフォローアップし  
ていく必要がある。
- はっぴいバスの実際の運行ルートによっては、利用者  
は試算の数値より下がり、その分タクシーや自動車の  
利用が増加することが考えられる。

20

- 第20回地域公共交通会議の再確認
- 済生会病院患者向けアンケート調査結果

- **ルート変更案の決定**

21

## 議事内容



- 済生会京都府病院の移転に伴う、はっぴいバスのルート変更案（P.6～P.11）について、3台活用ルート案を決定することについて、可否を問います。

※今後、路線バスの運行計画が変更された場合、はっぴいバスのルートも変更する可能性があります。その際は、改めて当会議にお諮りします。

22